

科目名	メディア活用企画・演習							年度	2026
英語科目名	Media Application and Planning Practice							学期	前期
学科・学年	スポーツ健康学科 スポーツビジネスコース 2年次	必/選	必	時間数	60	単位数	4	種別※	講義+演習
担当教員	名越卓也	教員の実務経験		有	実務経験の職種		メディア制作		
【科目の目的】 マーケティング手法を駆使し、ニュースポーツに関するニーズ把握や企画立案方法を習得することを目的とする。新興種目であるニュースポーツについて、情報発信や体験参加を通して参加者の関心度合いを高めるためのプロモーション方法を学ぶ。									
【科目の概要】 インタビュー調査方法を例として取り上げ、読者や視聴者へのオーディエンス分析を行い、メディアコンテンツの生産方法とその報道過程を体験します。									
【到達目標】 到達目標 A: 信頼性のある情報を適切に評価し、効果的にデジタルコンテンツを活用することが出来る。 到達目標 B: ソーシャルメディアの活用やデジタルマーケティングの基本など、デジタルツールの活用法に関するスキルを習得出来る。 到達目標 C: メディアの情報伝達や意見形成への影響など、メディアが人々や社会に与える影響に注意して活用することが出来る。 到達目標 D: 写真、ビデオ、オーディオなどのメディアの制作方法や編集技術などを使いこなすことが出来る。 到達目標 E: メディア活用において、著作権やプライバシーの法律、情報の公正な使用、倫理的な情報取得の方法などを理解出来る。									
【授業の注意点】 遅刻・欠席については学校に必ず事前連絡をし、無断での遅刻・欠席は成績評価に影響するため注意すること。授業内において教員から指示された検索作業等を行う場合以外は、授業中の携帯電話の使用は基本的に禁止とする。授業内における私語、その他の不適切な行動について注意されたにも関わらず指示に従わない場合、授業進行の妨害行為とみなして退出を命じる。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	信頼性のある情報を適切に評価し、効果的にデジタルコンテンツを活用することが出来る。		信頼性のある情報源の見分け方やフェイクニュースの識別、適切なデジタルコンテンツの使用方法を理解している。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 B	ソーシャルメディアの活用、オンラインコラボレーションツールの使い方、デジタルマーケティングの基本を理解しており、様々なデジタルツールを適切に活用出来る。		ソーシャルメディアの活用やデジタルマーケティングの基本など、デジタルツールの活用法に関するスキルを習得出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 C	メディアの情報伝達や意見形成への影響など、メディアが人々や社会に与える影響に注意して情報発信をすることが出来る。		メディアが及ぼす情報伝達や意見形成への影響、メディアの文化的・政治的な役割を理解出来る。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 D	写真、ビデオ、オーディオなどのメディアの制作方法や編集技術などを使い、ストーリー性のある情報発信をすることが出来る。		写真、ビデオ、オーディオなどのメディアの制作方法や編集技術などを理解している。		到達目標の達成度として不十分				
到達目標 E	メディア活用において、著作権やプライバシーの法律、情報の公正な使用、倫理的な情報取得を尊重した情報発信が出来る。		著作権やプライバシー、情報の公正な使用、倫理的な情報取得の方法に関するメディア活用の倫理と法律を理解出来る。		到達目標の達成度として不十分				
【教科書】 授業に必要な教材資料等については教員にて準備・配布する。参考書等を使用する場合には授業内にて指示する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 成績評価については、筆記もしくはレポートによる試験結果（中間/期末/定期的な提出物など）30%、授業中の参加姿勢/学習意欲（リーダーシップ、積極性、学習に対する向上努力など）30%、出席状況40%とし、授業内における達成度・到達度を総合的に判断して行います。なお、成績評価を受けるためには、全授業の75%以上の出席が必要となります。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		メディア活用企画・演習			年度	2026	
英語表記		Media Application and Planning Practice			学期	前期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	イントロダクション	演習目的の説明、スケジュール確認、グループ編成	1 演習目的の確認	演習活動のポイントの整理と理解	2		
			2 情報発信内容の設定	情報発信するコンテンツの理解			
			3 作業工程の設定	活動スケジュールの設定			
2	ニュースポーツ種目の紹介	キャンパス内におけるニュースポーツ種目の取材計画の検討	1 取材対象の具体化	取材対象の検討	2		
			2 情報発信内容の具体化	取材内容の検討			
			3 情報発信効果の具体化	情報発信方法の選定			
3	新規企画の考案	キャンパス内におけるニュースポーツ種目の取材計画の検討	1 取材対象の具体化	取材対象の検討	2		
			2 情報発信内容の具体化	取材内容の検討			
			3 情報発信効果の具体化	情報発信方法の選定			
4	ニュースポーツの情報発信	情報発信と期待される成果の検討	1 取材対象の具体化	取材対象の検討	2		
			2 情報発信内容の具体化	取材内容の検討			
			3 情報発信効果の具体化	情報発信方法の選定			
5	情報発信方法の検討	グループディスカッションによる取材アイデア抽出	1 情報発信内容の具体化	取材内容の検討	2		
6	情報発信方法の検討	グループディスカッションによる取材アイデア抽出	1 情報発信内容の具体化	取材内容の検討	2		
7	ニュースポーツに関する取材活動	ニュースポーツ取材活動	1 取材準備と手続き	取材対象者とのコンタクトと取材日程の調整	2		
				取材申し込みの手続きの理解			
				取材に必要な器材調達			
8	ニュースポーツに関する取材活動	ニュースポーツ取材活動	1 取材準備と手続き	取材対象者とのコンタクトと取材日程の調整	2		
				取材申し込みの手続きの理解			
				取材に必要な器材調達			
9	ニュースポーツに関する取材活動	ニュースポーツ取材活動	1 取材	取材対象者への質疑	2		
				回答内容の記録と保存			
				効率的なインタビューの実施			
10	発信コンテンツの制作活動	コンテンツ制作活動	1 取得データの確認	取材内容のテキスト化	2		
			2 映像データの処理	映像データの整理・編集			
			3 情報発信内容の作成	情報発信のためのコンテンツ制作			
11	発信コンテンツの制作活動	コンテンツ制作活動	1 取得データの確認	取材内容のテキスト化	2		
			2 映像データの処理	映像データの整理・編集			
			3 情報発信内容の作成	情報発信のためのコンテンツ制作			
12	発信コンテンツの制作活動	コンテンツ制作活動	1 制作コンテンツの確認と情報発信	取材対象への情報発信と選定した情報発信方法の活用	2		
13	発信コンテンツの制作活動	コンテンツ制作活動	1 情報発信	情報発信実施	2		
14	まとめ	情報発信の効果についての考察	1 情報発信の成果評価	コンテンツへの視聴者からの評価確認	2		
			2 情報発信の評価	情報発信活動に関する自己評価			
			3 改善点の検討	情報発信活動全般に対する改善点の抽出			
15	まとめ	メディア活用に関する自己評価と改善点の検討	1	コンテンツへの視聴者からの評価確認	2		
			2	メディア活用における今後の課題と改善点の検討			情報発信活動全般に対する改善点の抽出
			3	将来的な情報発信活動に関する目標設定			

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考等